



市立林業総合センター（木根館）の ネーミングライツパートナーを選定

河内長野市は9月1日、新たに市立林業総合センター（木根館）^{きんこんかん}のネーミングライツパートナー（愛称等の命名権者）の優先候補者に、キッチンカー（移動販売車）で地元食材を使った石窯ピザなどを販売する市内事業者の「石窯 P I Z Z A ^{アンソニー} ANTHONY」（代表：^{やぶしたとしひろ}藪下利広氏。以下「アンソニー」という。）を選定し、決定しました。

市では、昨年7月から市有施設30施設のネーミングライツパートナーの募集を開始し、これまで市立図書館など4施設でネーミングライツを実施してきました。

今回、本市で5施設目となる木根館のネーミングライツパートナーに、2016年から同館のアンバサダー（PR大使）を務めるアンソニーから応募があり、市の審査を経て優先候補者として決定しました。

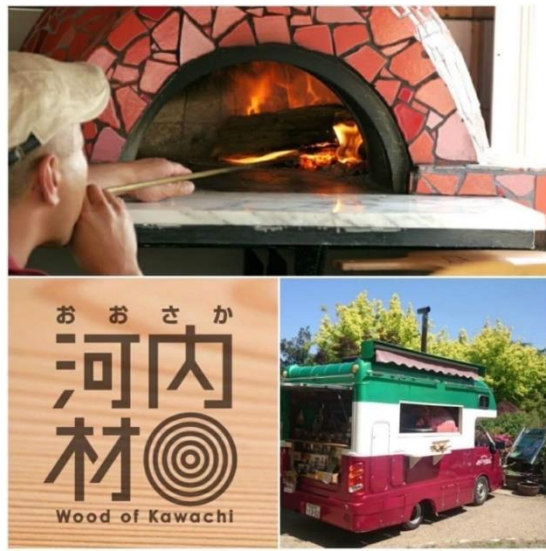
今年、木根館は開館30周年の記念すべき年にあたり、河内長野市で育った藪下氏が自然豊かな本市の魅力発信、木育と食育、地産地消による地域貢献、地域の活性化に寄与したいと考え、木根館のネーミングライツパートナーに名乗りをあげられました。

今後、今年11月頃からのネーミングライツ開始に向けて協議し、ネーミングライツパートナー契約を締結してまいります。

愛称	木根館 ^{ウィズ} With ^{アンソニー} ANTHONY
期間	5年間
年額	385,000円（消費税及び地方消費税を含む）

アンソニーは2014年に藪下氏がキッチンカーでの営業を開始され、食材には地元の農家から仕入れた農作物を使い、木根館から仕入れたおおさか河内材の間伐材を使って石窯で焼き上げるなど、地産地消・スローフードにこだわった本格派のピザで人気を得ています。

また、アンソニーは木根館で石窯ピザづくり体験なども実施し、森林環境と地元農作物の地産地消の大切さを子ども達に伝えるなど、「木育と食育」にも取り組んでおられます。



地域をつなげる ここだけの石窯ピッツァ & ジェラート

石窯ピッツァアンソニーのこだわり

- 石窯の燃料は大阪の薪!**
間伐材を薪として活用することでエネルギーの地産地消に取り組んでいます。森林保全や環境保全にも役立っています。
- 生産者と一緒につくった大阪のピッツァ!**
美味しさと驚きを多くの人に伝えています。美味しさの背景にある地域生産者の思いも伝えています。
- 五感で学べる石窯ピザ作り体験**
石窯ならではの香りや熱などを感じて、キッチンカーに乗って焼ける様子を見ることが出来ます。薪やピッツァとピザの違い、そして環境に関わることも同時に学べます。

	<p>藤井寺市 大村元昭さん ●パジルソース</p>
	<p>河内町 いちご畑の米夢ちゃん ●いちご</p>
	<p>富田林市 山真園 まーいかんぱにー ●ブルーベリー ●胸老字</p>
	<p>富田林市 古川農園 ●トマト ●宝ねぎ</p>
	<p>河内長野市 中谷農園 ●桃(桃ソース) ●梨</p>
	<p>河内長野市 垣内農園 ●旬の果実のジャム</p>
	<p>河内長野市 大阪府森林組合 ●薪</p>
	<p>河内長野市 kawabata farm ●トマト</p>

	<p>阪南市 横田水産 ●ちりめん山椒</p>
	<p>河内長野市 Bb Cafe ●たまねぎソース</p>
	<p>河内長野市 天野酒店 ●焼きねぎ味噌 ●あま磯サイダー</p>